

# 教採合格者から後輩へのアドバイス

## 〈小学校①〉

社会専修 石坂 唯人

私は大学推薦で一次試験免除のため、二次試験に向けて取り組んだことを二つ紹介します。

一つ目は、学校フィールド・スタデイ等で学校現場に伺うことです。受験した埼玉県では、場面指導等現場を想定した質問が多いため、子供達に対するやりとりや指導がとて学びになり、受け答えに説得力をもつことができました。二つ目は、様々な人と試験対策練習をすることです。教職セミナー、個別相談、大学推薦の人との練習、友人と企画した試験対策会など多くの人と練習を重ねました。また、大学の実務家教員の先生方には何度も小論文添削や面接練習をしていただきました。そして、回数を重ねるごとに自信を深めることができました。さらには、友達同士で学び合い、情報共有を行うことで、新たな視点を獲得することもできました。

私が教員採用試験に合格できたのは、実務家教員の先生方をはじめ、教職指導員の先生方、教育への志をもった仲間、そして夢を応援してくれた家族の存在が大きいです。皆さんも息抜きを大切にしながら、笑顔で最大の力を出し切って頑張ってください。私も学び続け立派な教員を目指します。一緒に頑張ります。応援しています。

## 〈小学校②〉

心理・教育実践学専修 村井 千咲斗

私が採用試験までの過ごし方として意識したことを紹介します。

一つ目は、積極的に学ぶ環境を求めることです。私は「夢講座」の他に、三年間の学校フィールド・スタデイ、研究発表会や研修に数多く参加しました。学校現場での学びは、採用試験においても自分の力になってくれました。また、夢講座の仲間を募り、試験対策ができる環境を作りました。この環境があれば団体戦とも言える採用試験には勝てなかったと思えるほど必要不可欠な環境でした。二つ目は、目標の設定と反省を欠かさず行うことです。私は決して小論文や面接を周りの人よりも多く練習したという訳ではありません。しかし、特に面接対策では目標をもって臨み、終了後は必ず振り返りをノートに書き、自分を客観的に捉える時間を設けていました。これにより苦手と向き合いながら、自分のよいところも見付け、モチベーションの維持に繋げることができました。

これだけでなく、先生方のサポートがあつて掴み取った合格だと感じています。みなさんの合格とささやかながら応援しています。

## 〈中学校①〉

言語文化専修英語分野 斎藤 視由

私が教員採用試験を受験する上で効果があつた取組についてご紹介します。

一次試験については、過去の問題を早くから解き、それをもとに勉強していくことです。自分の受験する自治体の傾向を掴み、効率よく勉強を進めていきました。ある程度の傾向を掴んで勉強した後、何度も問題を解いて自分の苦手分野を集中的に勉強するとよいと思います。

二次試験については、仲間との練習で学び合うことです。小論文の読み合い、面接練習、模擬授業の見合いなどすべての試験対策を仲間と共に行いました。そうすることで競争心も相まってお互いに高め合うことができました。特に私は、同じ受験自治体、校種の友達と勉強していたため、それがよい刺激となり、常にモチベーションを高めることができました。

これらに加え、教職セミナーへの参加、大学の先生に二次試験対策をお願いする、先輩にアドバイスをもらうなどもしていました。様々な方にご指導いただいたことは、私にとって大きな力となりました。ぜひ皆さんも積極的に学ぶ機会を増やし、合格への道を歩んでください。応援しています。

## 〈中学校②〉

言語文化専修国語分野 渡邊 隼颯

私が教員採用試験のために取り組んだことを二つ紹介します。

一つ目は、教員にとって必要な知識や教養を身に付けることです。私は二次試験からの受験でしたが、一次試験で問われるような教育に関する教養や、自身の専門科目の知識について一通り勉強しました。それらが自身の基盤となり、二次試験で活用することができました。公的な文書を読み込んだり、教科書や学習指導要領を活用して勉強したりするとよいと思います。

二つ目は、客観的な視点を得ながら取り組むことです。面接練習や小論文対策は常に誰かと協力して行いました。互いに学び合うことで、自身の課題に気付いたり、その人のよいところを取り入れたりすることができました。また、教職支援の先生方に多くの指導をいただきました。セミナーの時間はもちろん、それ以外の時間にも面接指導や小論文添削をしていただきました。面接や小論文はやればやるほど力が付くので、失敗を恐れず早い段階から取り組むべきだと思います。

前にも書きましたが、試験対策は早い段階から始めより多く行ってください。それが自分の力になるとともに、自信へと繋がります。共に学ぶ仲間や、支えてくださる先生方を大切にしながら、みなさんの夢へと進んでいってください。

## 〈高等学校〉

社会専修 桑原 智也

私は面接に対して苦手意識を強く持っていました。そのため面接対策は人一倍行いました。その中で効果的であったものを二つ紹介します。

一つ目は、生成AIを活用した面接対策です。私は教員採用一次試験後も部活動を続けていたため人との面接練習の機会があまり確保できていませんでした。そこで私は練習機会の確保のために生成AIを活用して面接練習を行いました。生成AIは事前に読み込ませた問題を出題してくれるのに加え、入力された回答を深掘りしてくれるため、本番さながらの面接練習が一人で行えました。さらに教育理念や法律など、わからなかった質問に対してはすぐに該当部分を教えてくれるため、勉強の効率がよかったです。

二つ目は、自分の面接練習の様子を動画で撮影することです。これは教職セミナーの先生が勧めたもので、試験官から見た面接中の自分の様子がわかります。姿勢や話し方などは意識しないと直せないものなので自分を客観的に見ることはとても重要です。

試験は不安かもしれませんが、最後まであきらめず頑張ってください。応援しています。

## 〈特別支援学校〉

自然科学専修理科分野 澁谷 樹

私は大学推薦をいただき、一次試験免除でさいたま市の特別支援教育担当教員(小学校)の採用試験を受験しました。二次試験までに取り組んでよかったと感じたことを紹介します。

まずは面接試験に向けて、過去の試験から質問内容を集めました。質問に対する回答を法令の知識と一緒にノートにまとめて、いつでも確認できるようにしました。さらに、「夢講座」と大学推薦との合同面接練習や、夢講座の有志で行った面接練習に参加しました。毎回の練習後には、アドバイスをともに過去の自分の回答を修正しました。様々な学校種の人と練習をすることで視野が広がり、新たな考えを得ることができました。

論文試験は、主に教職支援セミナーを通して対策としました。毎週セミナーの先生にご指導いただき、自分の論文の型を固めることを意識しました。また、さいたま市の過去の論題で練習し、論題を見たら柱立てが思い浮かぶようになることを目指しました。

試験に向けて対策をする中で、「採用試験は共に働く仲間探し」という言葉をいただきました。試験に向けて不安な気持ちを抱く方も多いと思いますが、同じ夢をもつ仲間と高め合い、最後まで頑張ってください。応援しています。

## 〈幼稚園・保育園〉

乳幼児教育コース 中島 千裕

公務員試験(公立保育士)の採用試験に向けた取組を紹介します。一次試験に関しては、参考書を何周も読み込んだり、様々な問題に取り組みんだりすることで知識を付けていきました。自治体によっては専門試験に加えて、教養試験や論文試験を課す場合もあるため、志望先の試験内容を確認した上で対策を進めることが大切です。

二次試験の面接試験では、教職セミナーを使って面接練習に取り組みました。先生からアドバイスをいただいたり、友人と意見を共有したりすることで、自分の言葉で質問に答えられるようになりました。何度も面接練習をして自信をつけることで、想定外の質問がきたとしても慌てずに対応できるようになりました。私が受験した以外の自治体では、ピアノの弾き歌いや手遊び等の実技もありました。大変緊張しますが、いかに子どもたちの姿を想定しながら楽しんでできるかが大きな鍵になると思います。

公立保育士の試験は、自治体の多くが夏以降の試験になるため、就職活動の時期が遅く不安な気持ちになることも多くありました。しかし、同じ夢を志す仲間のお陰で乗り切ることができました。仲間と共に最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

## 〈養護教諭〉

養護教諭養成課程 新井 梨紗

私は、採用試験を受験して、夢を明確にして追いかけていることが重要であると感じました。私が行った対策について紹介します。

一次試験の対策については、とにかくたくさん問題に触れることを意識しました。そして、見たことがある問題を確実に正解するたため、問題集を何周も繰り返し読みました。私の受験した自治体は、一次試験を突破できれば、倍率が二倍程度まで絞られるため、とにかく一次試験に合格するための勉強をがんばりました。その知識が二次試験にも活かすと感じています。

二次試験は、自分一人での対策は難しかったため、先生方や友人家族の力を借りました。面接や場面指導は正解が一つではない試験であるため、自分が教師になったときのことを想像し、どんな教師でありたいかという目標を明確にしておくことが大切だと思いました。試験の対策をしている間、何度も不安な気持ちになりましたが、そんな時に支えになったのは、養護教諭になりたいという強い思いと、一緒にがんばる仲間たちとの絆でした。「先生になりたい」という気持ちを大切にし、これから出会う子供たちとの出会いを楽しみに、力を出し切ってほしいと思います。応援しています。